会議録【要点筆記】

会議名称	令和6年度第1回米沢市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和6年6月24日(月) 午前10時00分~午前11時15分
開催場所	米沢市役所 2階 201・202・203会議室
出席者	(委員等氏名) (所属団体等)
E4//14 E	委員 阿部 貴宏 米沢警察署 交通課長
	副会長安部衛米沢商工会議所専務理事
	委員 安部 朋子 山形県立米沢商業高等学校 教諭
	委員 今村 元一 米沢地区ハイヤー協議会 会長
	委員 入間川 悟 東日本旅客鉄道株式会社米沢駅 駅長
	委員 植野 みどり 公募委員(継続)
	委員 黒須 敬子 公募委員 (継続)
	委員 小山 雄司 山形県置賜総合支庁 道路計画課長
	(代理出席 浅井信夫)※オンライン参加
	委員 佐藤 香奈 米沢市立西部小学校 教頭
	委員 菅原 佳代 山形県置賜総合支庁 総務課連携支援室
	連携支援専門員
	委員 鈴木 新一 米沢市地区委員会 副委員長
	委員 鈴木 正幸 山交バス株式会社米沢営業所 所長
	(代理出席 小川泰則、石井康太)
	委員 髙橋 優子 山形県公立大学法人 法人企画主査
	委員 遠山 健 東北運輸局山形運輸支局 首席運輸企画専門官
	委員 山川 良雄 公募委員 (継続)
	委員 山田 記子 米沢市身体障がい者福祉協会 婦人部
	委員 吉藤 雪乃 米沢女子短期大学 学生
	委員 我妻 康次 米沢市コミュニティセンター館長会 会長
欠席者	(委員等氏名) (所属団体等)
	委員 葛西 健司 山形河川国道事務所 米沢国道維持出張所長
	委員 河田 亜依 山形大学工学部 学生
	委員 高澤 由美 山形大学 准教授
事務局	企画調整部長、地域振興課長、地域振興課長補佐、地域交通主査、地域振
出席者	興課主任(地域交通担当)
会議次第	1 開会
	2 委員紹介
	3 会議の公開等について
	4 協議
	(1) 副会長及び監事の選任について
	(2) 令和5年度事業報告並びに収支決算について
	(3) 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
	5 報告 (4) # # # # # # # # # # # # # # # # # # #
	(1) 基本目標の達成状況について (2) drox x 3 L 郷 線 2 C C C C C C C C C C C C C C C C C C
	(2) 山交バス上郷線について
	6 その他 7 問合
△举次心	7 閉会
会議資料	議事次第・委員名簿
	資料1 会議の公開等について

資料2 役員の選任について

資料3 令和5年度米沢市地域公共交通活性化協議会事業報告

資料4 令和5年度米沢市地域公共交通活性化協議会収支決算

資料 5 令和 6 年度米沢市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)

資料6 令和6年度米沢市地域公共交通活性化協議会収支予算(案)

資料7 基本目標の達成状況の確認

資料8 規約

会議内容

- 【1 省略】
- 【2 省略】
- 【3 会議の公開等について】 公開
- 【4 協議】
- (1) 副会長及び監事の選任について(事務局が資料1により説明)

米沢市地域公共交通活性化協議会規約第6条第3項の規定により、副会長及び監事 を委員が互選。副会長に安部 徹委員、監事に佐藤 香奈委員及び髙橋 優子委員が 選任された。

- (2) 令和5年度事業報告並びに収支決算について(事務局が資料3、4により説明) 委員からの意見質問なし。
- (3) 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について(事務局が資料4、5により説明)
- 委員:昨年度予算よりも事業費が大幅に減っているが、令和5年度収支決算の事業 費備考欄に書いてあるものが全て直接事業なのか。

今年度の事業計画に乗合タクシーの件が記載されていないが、含まれているのか。

- 事務局:事業費にはアドバイザー報酬が含まれており、大幅に減少した理由はアドバイザー報酬が米沢市から直接の支払いとなったため。
- 委員:チラシの作成は計画していないのか
- 事務局:今年度は計画していない。

乗合タクシーの運行については、重点事業2(2)運行方法・交通モード等の見直しの中に含まれている。すでに運行している地区については、継続して見直しの検討を行い、新規で導入する地区については、地区組織との協議や需要調査を進める。

- 委 員:この協議会は米沢市内の公共交通について扱うということなので、米坂線は 扱わないのか。
- 事務局:米沢市地域公共交通計画策定時点で被災していないので、計画の中で米坂線の復旧について取組の位置づけはないが、他の組織で米坂線の同盟会があり、 米沢市長も副会長となっており、その会の中で国や県への要望を行っている。 また米坂線の復旧検討会議にも参加しており、復旧に向けた方法について地域の中で話をしている状況。
- 委 員:公共交通のアドバイザーはどのような活動を行っているのか。講演会等あれば聴講したい。
- 事務局:アドバイザーは計画書策定時に助言をいただいており、その際には会議にも 参加していただいた。現状として日程の都合がつかず協議会には参加できてい ない。

行っている取組としては、乗合タクシー等を地域で導入していく際に、どの

ような考え方をするのか教授してもらっている。また、市街地内の交通モード 検討にあたって、ワーキング委員会を開催しておりその会での座長も務めてい る。

要望等あれば、次回会議に御参画いただくので公共交通等に関する質問等あれば、事務局まで教えて頂き、会議の中で先生に回答していただくことも可能。

- 委 員:我々も知識があるわけではないので、先進的な公共交通の話など聞かせて欲 しい。
- 副 会 長:次回以降吉田先生の日程を確認し、専門家からのお話を聞けるように事務局 で調整をお願いしたい。
- 委員:市街地の魅力向上プロジェクトとあるが、魅力向上とはどういうことなのか。アクセスのしやすさ等なのかと思うが、それだけで魅力がどれだけ向上するのか。ナセBAの交通拠点としての機能強化とあるが、ナセBAでのイベント開催なども検討しているのか。
- 事務局:公共交通計画では、市街地の魅力向上プロジェクトとは「市街地において公共交通を使いやすい時間帯・経路での運行にするほか、集まりやすく・待ちやすい拠点等の確保、利用しやすい環境の整備などを進め、公共交通分野からも市街地の魅力向上を進めます。」としている。

ナセBAの機能強化については、道路の両側にバスベイがあり、一方通行の解除も予定されているので、そういった環境も踏まえてバス路線等検討していきたいと考えている。

委員:集まりやすく待ちやすい環境とのことだが、ナセBA自体が集まりやすく待ちやすい良い環境にあると思うので、周りの環境だけでなく、ナセBA自体の機能も見直していくことで学生をはじめバス待ちしやすくなると思う。

【3 報告】

- (1) 基本目標の達成状況について(事務局が資料7により説明) 委員からの意見質問なし。
- (2) 山交バス上郷線について
- 事務局:山交バス株式会社から説明をお願いする。
- 委員:上郷線について、運転手不足と業務時間短縮によって運行をすることが苦しい状況だ。平日往復6便運行しているが、乗車人数の減少が顕著になっている。始発から終点まで1名程度しか利用者がいない状況。

山交バスとしても路線を維持していくのが難しい状況なので上郷線は廃止と 考えている。廃止の日にち等については米沢市と調整し進めていく。

- 副 会 長:今年度中に結論を出す方向か。
- 委員:米沢市と協議をしながら、早い段階で進めていきたい。
- 事務局:上郷地区でも公共交通の設置に向けた協議は進めている。山交バスの廃止について地区と共有し地域の公共交通の設置に向けて速やかに進めていきたい。
- 委員:上郷地区の住民からはどのような意見が出ているか。
- 事務局:地区全体と話をしているわけではなく、核となる組織をつくっていただきその組織と話をしている。山交バスの件については、今回の表明を受けて地区と協議していくので、地域の反応はこれからだが、現状としては利用者は1名程度なので、そういった方の手当をどうするか話し合っていかなければと考えている。
- 委員:来年の鶴城高校開校に向けて、市内の米沢商業高校に通っていた主に女子生 徒がどうやって工業高校へ行くかという問題があると思うが、上郷線を活用し

て駅を経由して向かう事は可能か。

事務局:現状では米沢工業高校の生徒は圧倒的に自転車での登下校が多い。冬期については万世線が駅から工業高校までの直行便を運行している。

高校生は歩いて登下校する生徒も多いが今後通う生徒が増えることも考えて、バスの利用状況を注視しながら増便も検討していく。市内のバス路線も乗り換えて利用できるような工夫も考えていく。

- 事務局: 山交バスから路線廃止の表明があったが、地域旅客運送サービス継続事業等 も活用も検討しながら山交バスとも協力しながら廃止後の公共交通導入を進め ていく。
 - 【6 その他】

委員からの意見質問なし

【7 閉会】